

## はじめに

生きものとのつながりの中で生きていた九重町の先人たち。彼らの暮らしは“いのちとりどり 誇りの暮らし”。

暮らしの中で生きものと共生する術と感性を磨き、自然を相手にした共同作業においては、人と人とのつながりを大事にしてきました。そして今、先人たちが育み、守ってきた恩恵で私たちは生きています。

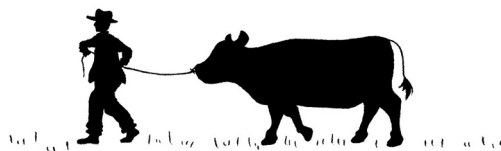
しかし、今の私たちは生きものとのつながりから少し離れたところで暮らしています。生きものとのつながりを取り戻さなくては、次世代に恩恵を引き継ぐことはできません。

便利になった暮らしを、昔の暮らしに戻すことは難しいでしょう。だからこそ、先人の知恵を今に活かし、生きものとの新しいつながり方を見出さなくてはなりません。

次の世代に、“いのちとりどり 誇りの暮らし”をつなぐための取り組みは、数年単位で終わるものではありません。だからこそ、一人ひとりの普段の暮らしが大切なのです。

まずは身の周りの生きものとのつながりに心を傾けてください。心を傾けた後、どう行動すればいいか。その具体的な行動とヒントをこの戦略にまとめました。

### 九重町



# 目 次

はじめに .....	1
第1章 策定にあたって .....	5
1 九重町における生物多様性の重要性 .....	6
2 戦略の背景 .....	6
3 位置づけ .....	9
第2章 九重の生物多様性を取り巻く状況 .....	10
1 生物多様性の恵みと危機 .....	11
(1) 生物多様性とは .....	11
(2) 生物多様性の恵み .....	14
(3) 生物多様性の危機 .....	19
2 九重町の生物多様性の状況 .....	21
(1) 九重町について .....	21
(2) 自然の概要 .....	24
(3) 野生生物の概要 .....	30
(4) 人と自然とのつながりの変遷 .....	43
3 九重町の生物多様性の課題 .....	51
(1) 人間活動や開発による自然への影響 .....	51
(2) 人と自然とのつながりの低下による自然の質の低下 .....	51
(3) 新たに侵入した生きものや汚染物質による生態系への被害 .....	52
(4) 地球温暖化 .....	52
(5) 生物多様性の危機が私たちに与える影響 .....	53
4 九重町の生物多様性保全の状況 .....	54

第3章 目標	55
1 戦略の期間	56
2 理念	56
3 将来像	57
4 九重目標（基本となる目標）	57
5 20年目標（中期目標）	58
第4章 行動計画	60
1 重要地域の保全	61
(1) 重要スポットの指定	61
(2) 生物多様性が失われつつある、かつての重要スポット	74
2 伝えたい原風景	76
(1) 文化的景観	76
(2) 天然記念物など	80
3 自然公園	82
(1) 自然公園について	82
(2) 九重町の自然公園	82
4 ラムサール条約登録湿地	83
(1) ラムサール条約について	83
(2) 九重町のラムサール登録湿地：タデ原湿原	84
5 自然との関係をつなぎ直すための行動計画	85
(1) 生物多様性の学びを楽しもう〈九重目標1〉	86
(2) 豊かな生物多様性を保全しよう〈九重目標2〉	88
(3) 自然とつながる暮らしを育もう〈九重目標3〉	95
(4) 参画・連携のための目標	101

第5章 戦略の推進	103
1 推進体制	104
(1) 九重町自然環境保全推進委員会の設置	104
(2) 町の推進体制の確立	104
(3) 生物多様性保全に関する自治体連携	104
(4) 各主体の役割	105
2 進行管理	106
資料編	107
1 用語について	108
(1) 重要種のカテゴリーについて	108
(2) 外来種のカテゴリーについて	109
(3) 植生について	110
2 九重町の自然に関することわざと言い伝え	113
3 九重町の観天望気	114
4 九重町の自然暦	115
5 策定経過	116
6 九重町生物多様性保全対策協議会員名簿	118
7 九重町生物多様性保全対策協議会 専門部会員名簿	119
いのちとりどり輝く九重町宣言	121